

いつ？

令和7年春（令和6年度中）開館予定。現在、設計や建設工事など、開館に向けた準備を進めています。準備期間中も県民の皆様との美術館づくりワークショップ等を開催します！

どんな？

コンセプトは「未来を『つくる』美術館」。従来の美術館機能に加え、人々が集い・楽しみ・交流する拠点として、さまざまな空間での多様な利用にぎわい、お気に入りのサードプレイスとなる美術館をめざします。また、美術を通じて学ぶ「ラーニングセンター」としての機能を備えます。県内の美術館と連携しながら、幅広い分野の展覧会やプログラムを企画し「とっとりのアート」を発信します。

どうやって？

県内外の企業10社により構成される民間事業者の「鳥取県立美術館パートナーズ株式会社」が美術館を整備し、鳥取県と一緒に運営していきます。また、県内企業の参画や県民の雇用を促進し、地場産品を活用するなど、地域経済の活性化に貢献します。

美術館

museum for the future

をつくる。

令和7年春（令和6年度中）OPEN！

鳥取県立美術館



いろんな「つくる」で「とっとりのアート」の「むかし」「いま」そして「未来」をつむぐ

どこに？

鳥取県の倉吉市（建設予定地：倉吉パークスクエアに隣接）の約1.8万平方メートルの敷地に、約1万平方メートルの県立美術館を整備します。鳥取県の中心に位置し、県内各地から集いやすく、美術館からアウトリーチもしやすい立地で、周辺の文化施設や観光施設等との連携を図ります。



美術館の情報をお届けします！

鳥取県立美術館
プレサイト 公開中！

鳥取県立美術館の概要や、開館準備を県民みんなで楽しむイベントや募集情報などを発信しています！



▲ プレサイト



▲ Facebook

<https://tottori-moa.jp/>

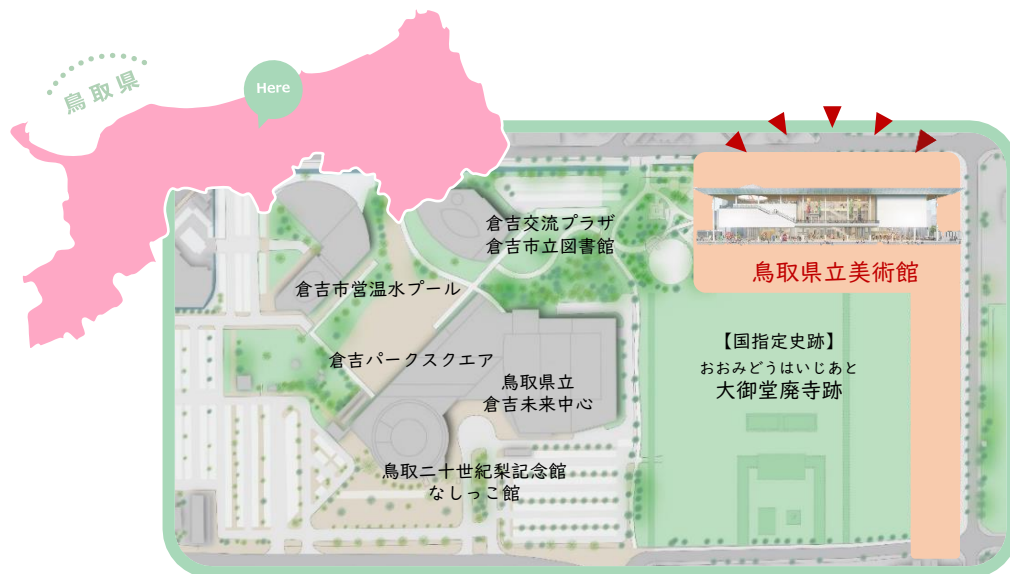


『Pass me!』

鳥取県立美術館ができるまでを発信するフリーペーパー。県民一人ひとりがプレイヤーとなって、さまざまな人へ「Pass」しながら、ともに鳥取県立美術館をつくっていく足跡を伝えます。ぜひお手に取ってご覧ください。

配布場所：鳥取県立博物館、公立図書館、大型商業施設、道の駅、大学、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館 など

鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局
住所 〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5（倉吉未来中心2階）
電話 0858-47-3011 ファクシミリ 0858-47-3022
E-mail : bijyutsukan-seibi@pref.tottori.lg.jp
URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/bijyutsukanseibi/>



令和7年春OPEN! 鳥取県立美術館

『未来をつくる美術館』の姿



Check 1.>>

大御堂廃寺跡を望む展望テラス

2階のテラスからつながる3階の展望テラスは、特別展示コーナーと連携した展示も可能にします。

Check 2.>>

展望テラスに隣接する特別展示コーナー

企画展示と連携できる特別展示コーナーでは、鳥取県にゆかりのあるものに加え、国内外の様々なテーマを取り上げます。

Check 3.>>

企画展示室・常設展示室

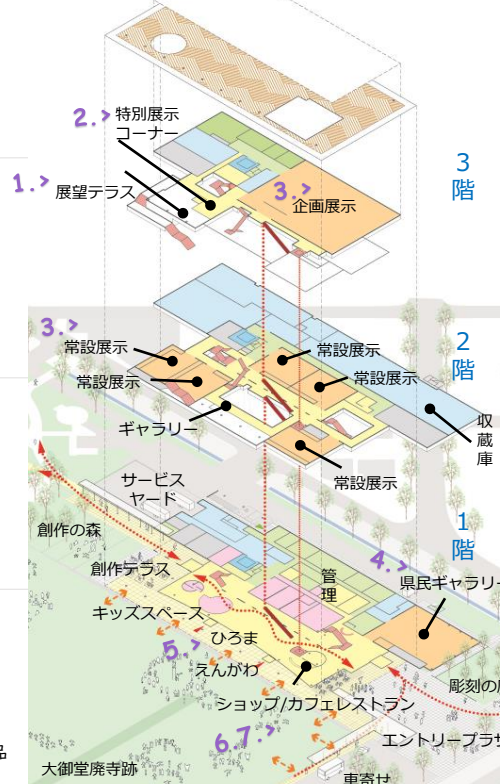
機能的で使いやすく、鑑賞しやすい展示空間。3階に企画展示室、2階に常設展示室を備えます。

Check 4.>>

エントランス横に位置する県民ギャラリー

訪れた人の目に最初に飛び込んでくる県民ギャラリー。街に開かれた空間が、県民のみさんの作品発表の場となります。

多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



Check 5.>>

木の温かみを感じられる居心地の良い『ひろま』

1階の『ひろま』を中心に『えんがわ』等での多様な活動が、訪れるたびに新たな出会いと発見をもたらします。のびのび遊べるキッズスペースもあります。

県民が主役となるアートフェスティバルの開催

3年に一度の「トットリエンナーレ」などを企画して、美術館から街へとアートを広げます。

イメージ(他施設での事例)▶



Check 6.>>

お気に入りのアートに出会えるミュージアムショップ

県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携したオリジナルグッズも開発します。

アート発表の場としても活用できます!



Check 7.>>

大御堂廃寺跡に面し、『ひろま』とつながるカフェレストラン

美術館や展覧会をモチーフにしたオリジナルメニューの提供や、食×アートをテーマにした気軽な体験や交流イベントを開催します。